

2020年1月30日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

中小企業景況調査(2020年1月)要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、14カ月連続でマイナス圏
売上げ見通しDIも、13カ月連続でマイナス圏

1 売上げ

2020年1月の売上げDIは、前月(▲9.3)から4.5ポイント低下し、▲13.8となった。

今後3カ月(1月~3月)の売上げ見通しDIは、前月(▲13.0)から3.7ポイント低下し、▲16.7となった。

2 利益

利益額DIは、前月(▲6.5)から6.1ポイント低下し、▲12.6となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(0.4)から1.8ポイント低下し、▲1.4となった。

仕入価格DIは、前月(10.5)から0.4ポイント低下し、10.1となった。

従業員判断DIは、前月(9.9)から1.4ポイント低下し、8.5となった。

生産設備判断DIは、前月(▲3.8)から0.2ポイント低下し、▲4.0となった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

＜調査の要領＞	調査時点	2020年1月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏451社、中京圏143社、近畿圏306社)
	有効回答企業数	568社
	回答率	63.1%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704 (担当:藤原、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、▲13.8と、前月(▲9.3)から4.5ポイント低下した。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、▲16.7と、前月(▲13.0)から3.7ポイント低下した。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、▲12.6と、前月(▲6.5)から6.1ポイント低下した。
- 黒字企業割合-赤字企業割合は、28.0と、前月(28.6)から0.6ポイント低下した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向

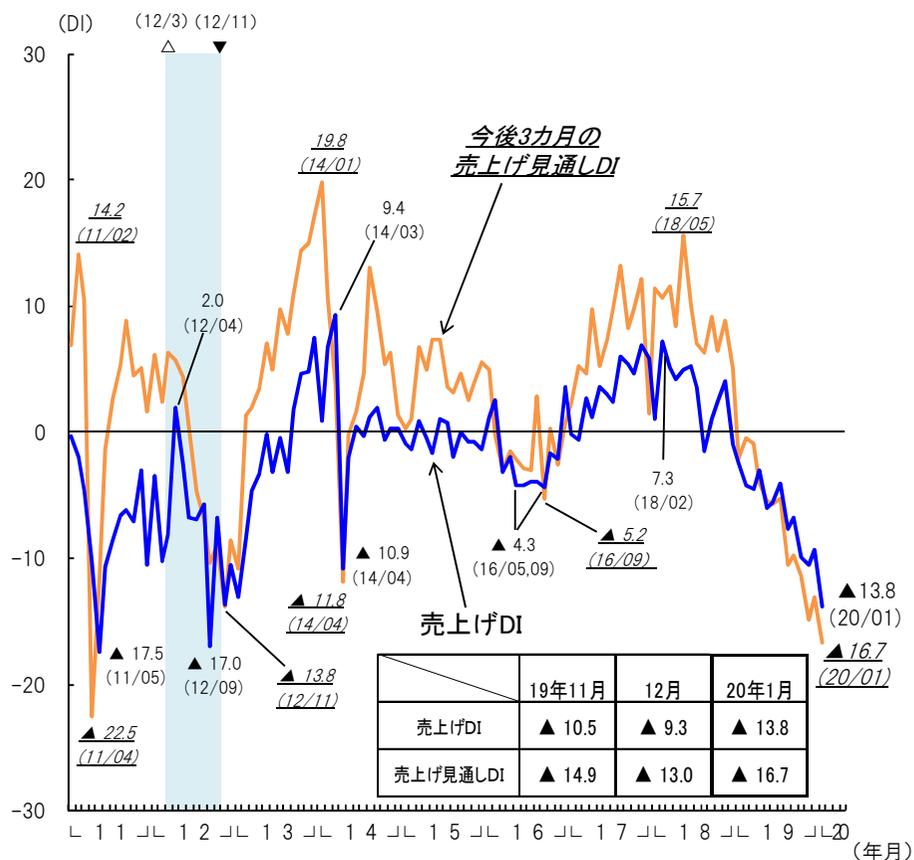
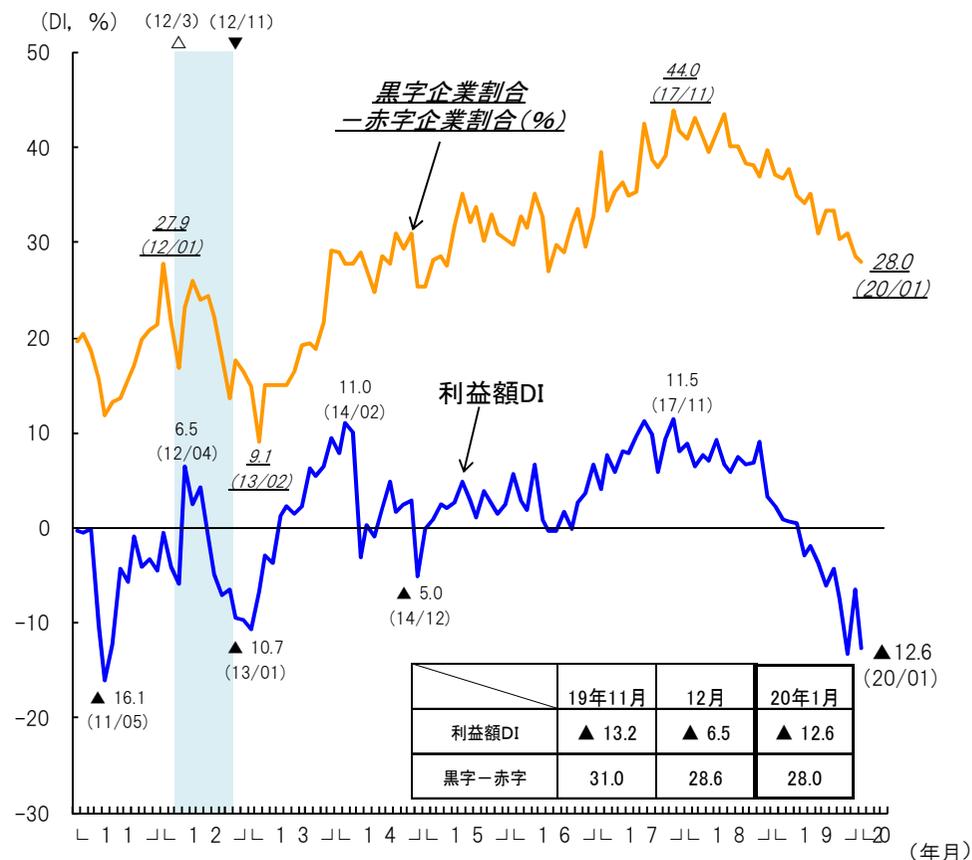


図-2 利益の動向

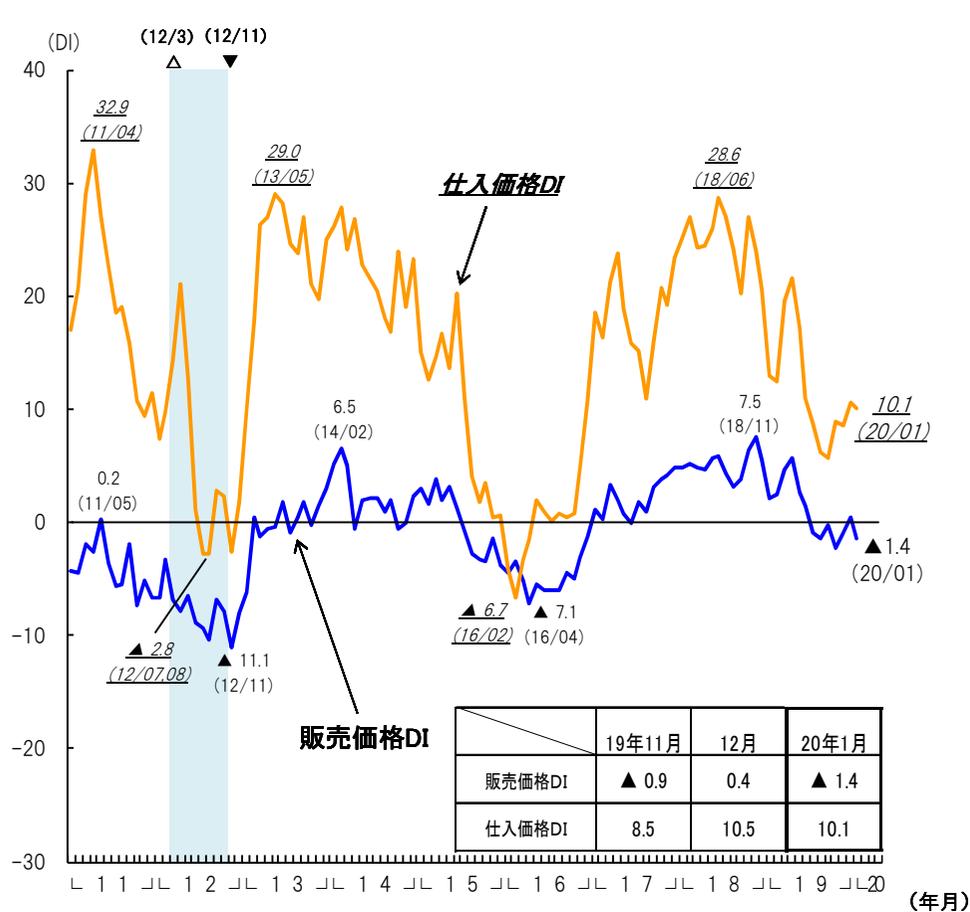


(注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドウ部分は景気後退期を示す(以下同じ)。
 4 今月調査において、季節調整値の改定を実施した(以下同じ)。

(注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

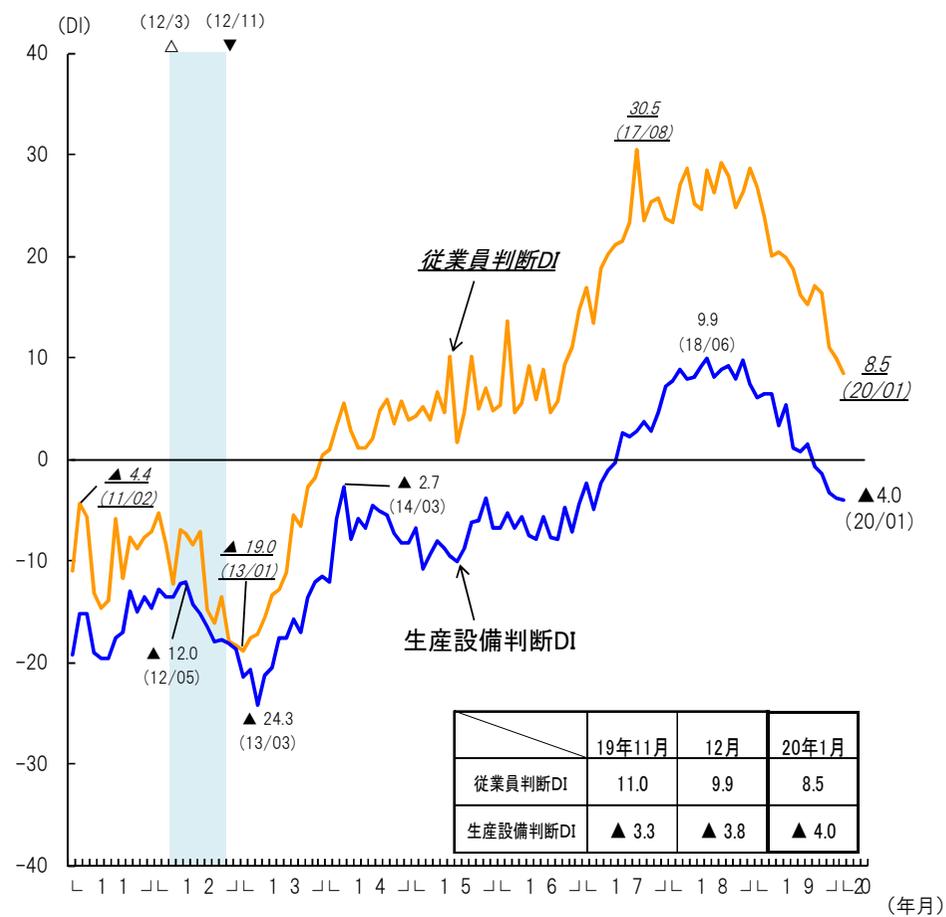
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲1.4と、前月(0.4)から1.8ポイント低下した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、10.1と、前月(10.5)から0.4ポイント低下した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、8.5と、前月(9.9)から1.4ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲4.0と、前月(▲3.8)から0.2ポイント低下した。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

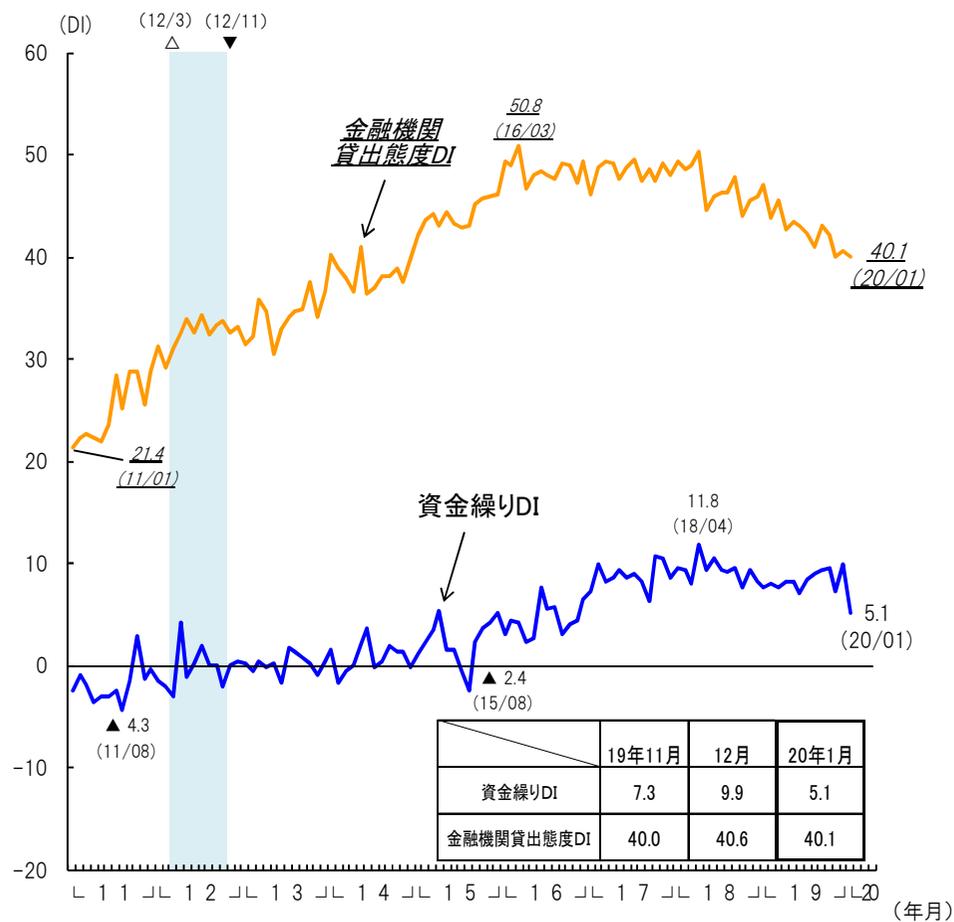
図-4 従業員状況、生産設備の判断



(注) 1 製造業の数値。
2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、5.1と、前月(9.9)から4.8ポイント低下した。
- 金融機関貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、40.1と、前月(40.6)から0.5ポイント低下した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
 2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。